

2025-26年度クラブ会報 第15号 2025年11月4日発行

2025年10月15日(水) 第2525回 例会報告

「ポリオ撲滅に向けて理解を深める！」
坂元 洋幸 公共イメージ委員



10月22日プログラム

「ガバナー公式訪問準備」

10月29日プログラム

ガバナー補佐訪問
ガバナー公式訪問準備

2025～26年度国際ロータリー会長テーマ
Unite for Good

一よいことのために手を取り合おう

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ氏 (イタリア、ラグーザRO)

2025～26年度東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

『互いに学び行動し、ロータリーを楽しもう』

第54代会長 宮崎 正巳

・進行 新海 正人 会場運営委員

・出席報告 荒井 孝育 会場運営委員

・点 鐘 宮崎 正巳 会長



皆さん、10月も半ばとなりましたが、
元気にまいりましょう。
それでは「第2525回例会」を始めます。



会 員 数	出 席 者 数	出 席 率	前々回出席率修正
29名	19名	70.37%	な し

この後、波多野健会員・大野正士会員が遅れて
出席予定です。
また、後藤正次会員はお仕事の都合で2ヶ月ほ
どお休みになります。

・斉 唱 「我等の生業」

ソングリーダー：小泉 博典 会員



・ニコニコBOX発表 内野 均 親睦委員長



ニコニコBOX

* 宮崎正巳会長・山田義高幹事⇒坂元洋幸公共イメージ担当、
本日のポリオ撲滅に向けての卓話宜しくお願いします。
11/8.9のデエダラまつりの時も対応宜しくお願いします。
* 金子由紀(事務局)⇒この連休中に娘の結婚式が無事終わり
ホッと安心です。先月ワンコがお空に行き、娘が結婚し家
の中が静かになりました。29年ぶりの夫と2人の生活、これからも
仲良く過ごしていきたいです。

◆今回計7,000円 累 計 433,000円



・会務報告 宮崎 正巳 会長



- 2024-25地区大会登録料 返金について
- ・本会議におきましては皆様のご協力にて多数のご登録をいただき大きく黒字となり、本会議登録料 ¥15,000を¥7,000に減額し、一人当たり差額 ¥8,000を返金することといたしました。
(武蔵村山RC328,000円
(親クラブ240,000円、衛星88,000円)

- 2025-26年度
地区懇親ゴルフ決勝大会のご案内

- 東京東大和ロータリーよりスーパーオープン例会ご案内チラシ
- ・講師:水野正人氏「楽しいロータリーについて」
⇒参加は個人対応とします。

- 1/21(水)宜野湾RCより創立60周年記念式典及び祝賀会ご案内
- ・多摩グループ合同例会と日程が重なるため、出席やお祝い対応は次回協議します。

・委員会報告

○坂元 洋幸 公共イメージ委員



- ・「第17回 村山デエダラ祭り」参加要領
公共イメージ・社会奉仕合同(代理報告)
- ・開催:11月8日(土)、9日(日)
- ・集合時間:
 - ・クラブ会報/社会奉仕委員:8日8時、9日9時
 - ・一般会員:8日8時半、9日9時
- ・内容:制服バンク展示、チューリップ球根配布、ポリオ募金活動
- ・前日準備:7日14時より大野会員宅で積み込み
- ・昼食:
 - 1日目「マイキッチン」、2日目「ゼストクック」
- ・服装:
 - 赤い「ポリオ撲滅Tシャツ」、ロータリー帽子、ロータリージャンパー着用
- ・雨天中止:当日7時判断

○荒井孝育ゴルフ部 事務局



- 「2025-26年度 地区親睦ゴルフ決勝大会」
- ・開催日:11月11日(月)
- ・会場:千葉県 野田市近郊の水海道カントリークラブ
- ・参加:現在5名(団体戦単位)
- ・申込締切:10月28日(当クラブ締切は10月22日)
- ・形式:ショットガン方式(全組同時スタート)

・幹事報告 山田 義高 幹事



- 1/22地区役員懇親会のご案内
(比留間孝司地区副幹事)
- 佐藤貢会員から地区RLI委員で参加した沖縄のお土産「ちんすこう」をいただきました。
ありがとうございます。



・「少年野球大会」について
11月30日(土)開催予定。
女子チームが都合で減少するため試合数を調整。
雨天の場合は翌週に順延。



今、ひとつの感染症が
世界からなくなろうとしている。

かつて、日本はポリオを根絶した。
でも、世界にはポリオがまだ根絶されていない国がある。
ポリオウイルスは、小児まひ・死を引き起こす可能性がある。
コロナ禍と闘った私たちと同じように、今も闘っている人たちがいる。
だから、ポリオを世界中から根絶したい。

私たちロータリークラブは、
そんな思いで日々活動を行っています。

10月24日は 世界ポリオデー



・卓 話

「ポリオ撲滅に向けて理解を深める」 坂元 洋幸 公共イメージ委員

■ 会長挨拶(宮崎会長)

今日は「ポリオデー」に向けて、
公共イメージ委員の坂元さんに「ポリオ撲滅」について
の卓話をお願いしました。
ポリオ活動は、かつて嶋村ガバナー時代に街頭募
金などを行い、赤い「シャツで立った経験があります。
「動くことで学び、伝える」ことが大切だと実感しました。
また、ロータリーの環境問題への取り組みについても
触れ、「カーボンニュートラル実現」に向けた意識を
高めたいと述べました。

■ 卓話(坂元洋幸会員)

テーマ:「ポリオとは何か ～歴史と現状～」

- ・ポリオ＝急性灰白髄炎。
主に5歳未満の子どもが罹患。
- ・20世紀初頭に欧米で大流行し、1940～50年代に
は年間50万人が発症。
- ・1955年 ソーク博士がワクチン開発。
- ・1961年 セービン博士による経口ワクチンが登場。
- ・現在、野生株はアフガニスタン・パキスタンの2カ国
のみ。
- ・1988年 WHO・UNICEF・CDC・ロータリーが「世界ポリ
オ根絶イニシアチブ」設立。
- ・ロータリーは1985年から「エンドポリオナウ」キャンペ
ーンを開始し、20億ドル以上を寄付、30億人以上の
子供に予防接種。
- ・症例数は99.9%減少。
- ・完全撲滅により年間20万人の麻痺を防ぎ、医療費
約60兆円削減の効果。
(動画メッセージ上映)



■ 補足説明(宮崎正巳会長)

- ・過去、ロータリーが100億円を募金し、ビル・ゲイツ
氏が同額を寄付して合計200億円を支援。
- ・各会員1人あたり230ドルの寄付目標(うち30ドル
がポリオプラス基金)。
- ・「ポリオプラス」とは、ポリオ根絶に加え他感染症対
策も含む意味。
- ・デエダラまつりでは、募金活動と公共イメージ向上
の両立を目指す。

ポリオとは？

- 急性灰白髄炎（ポリオ）は、ポリオウイルスによって引き起こされる感染症。
- 主に5歳以下の子どもが感染し、重症化すると麻痺や死亡に至ることも。
- 主に糞口感染で広がり、治療法はなく、予防接種が唯一の対策。

歴史的背景

- 古代エジプトの壁画に麻痺症状の人物が描かれている。
- 20世紀初頭から欧米で流行、1950年代には年間50万人以上が罹患。
- 1955年：ソークによる不活化ワクチン（IPV）開発。
- 1961年：セービンによる経口ワクチン（OPV）登場。

世界的な撲滅活動

- 1988年：世界ポリオ根絶イニシアティブ（GPEI）発足。
- 患者数は1988年の35万人から、2024年には100人未満に。
- 主な支援団体：WHO、UNICEF、CDC、**ロータリークラブ**。
- ロータリークラブは1985年から「**END POLIO NOW**」キャンペーンを展開し、20億ドル以上を寄付。30億人以上の子どもに予防接種を実施。

日本の取り組み

- 1961年：ソ連からOPVを緊急輸入し全国一斉接種。
- 1980年以降、野生株による患者はゼロ。
- 国際支援額は248億円以上、世界第4位の貢献国。

現在の状況（2025年）

- 野生株ポリオウイルスの常在国はアフガニスタン、パキスタンの2か国のみ。
- ワクチン由来ポリオウイルス（cVDPV）による感染が一部地域で発生。
- 日本では2014年以降、ワクチン由来麻痺も報告なし。

今後の課題と展望

- 紛争地域での予防接種の実施が困難。
- ワクチンへの不信感や衛生環境の改善が必要。
- 完全撲滅により年間20万人の麻痺を防ぎ、医療費40～50億ドル削減の可能性。（1ドル＝150円換算 約6000億円～7500億円削減）

○10/10(金)RLIパート I 沖縄開催(沖縄県男女共同センター「ているる」)

・佐藤貢地区RLI委員会委員がファシリテーターとして参加しました。



◇ 創 立 1972年7月8日 ◇ 承 認 1972年7月20日
 ◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
 ◎ 会 長 宮崎 正巳 ◎ 幹 事 山田 義高
 ◎ 副会長 荒井 孝育 ○ 副幹事 前川 優大
 □ クラブ会報委員長 大野正士 副委員長 坂元洋幸
 委員 比留間一義、遠藤友紀雄、薄井政光、比留間勝一、倉内哲(S)

東京武蔵村山ロータリークラブ
 事務局/例会場 西武信用金庫村山支店2階
 〒208-0004東京都武蔵村山市本町2丁目91-1
 TEL:042-520-3251/FAX:042-520-3252
 Eメール:t-mmrc@crest.ocn.ne.jp
 ●例会日:毎週水曜日 12:30～13:30